

劇作家・演出家の山本卓卓が初めての映画創作に挑戦 演劇では捉えきれない時間の変化を「映画」で記録する

フェスティバル/トーキョー18は、主催プログラムとして新作・映画作品『Changes(チェンジズ)』を上演します。

劇作家・演出家として数々の作品を手がけてきた山本卓卓(範宙遊泳)。これまでもプロジェクターを用いた演出で、観客の目の前にある生身の俳優と映像の関係を模索してきた彼が、「映画」というメディアでの創作に初挑戦。ドキュメンタリー的手法を取り入れつつ、長期間に渡って撮影・創作される本作は、「一人の人間」を見つめる山本のソロプロジェクト「ドキュメント」の新作でもあります。俳優・田中美希恵の「演じる／演じさせられる」姿を追い続ける事で、彼女ばかりか、レンズ越しに見つめる山本までもが「変化する／変化させられる」、演劇では捉えきれない時間を記録していきます。

フェスティバル/トーキョー18 主催プログラム

ドキュメント 『Changes(チェンジズ)』

監督・撮影・編集：山本卓卓

公演情報

日程：11/13(水)19:30

11/14(木)13:00/17:00

(上演時間：未定)

会場：あうるすぽっと

チケット：自由席(整理番号つき)

一般 1,500円(前売り、当日ともに)

※高校生以下 1,000円



Photo: Ryuichiro Suzuki



ドキュメント

2012年より範宙遊泳主宰の山本卓卓が始めた、1人の人間に焦点を当て生い立ちから掘り下げて作品化するソロプロジェクト。

山本卓卓 Suguru Yamamoto 劇作家・演出家

幼少期に吸収した映画・文学・音楽・美術などを芸術的素養に、加速度的に倫理観が変貌する、現代情報社会をビビッドに反映した劇世界を構築する。近年は、マレーシア、タイ、インド、中国、アメリカ、シンガポールで公演や国際共同制作なども行い、活動の場を海外にも広げている。『幼女X』で Bangkok Theatre Festival 2014 最優秀脚本賞と最優秀作品賞を受賞。『その夜と友達』で第62回岸田國土戯曲賞最終候補作ノミネート。

フェスティバル/トーキョー開催概要

フェスティバル/トーキョー (F/T) は、東京芸術劇場をはじめ池袋エリアに集結する文化拠点を中心に開催する、日本最大級の国際舞台芸術祭です。2009年に誕生し、過去10回の開催において、270作品、2045公演、約61万人を越す観客・参加者が集いました。

会期：2018年(平成30年)10月13日(土)～11月18日(日)

会場：東京芸術劇場、あうるすぽっと(豊島区立芸術交流センター)、南池袋公園 ほか

主催：フェスティバル/トーキョー実行委員会

豊島区／公益財団法人としま未来文化財団／NPO法人アートネットワーク・ジャパン、アーツカウンシル東京・東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

平成30年度文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業(豊島区国際アート・カルチャー都市推進事業)



フェスティバル/トーキョー18は東京芸術祭2018の一環として開催されます。



広報用素材をご用意しています。素材手配につきましては下記までご一報ください。

広報に関するお問い合わせ：

フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 広報：小倉明紀子、神永真美
TEL：03-5961-5202 FAX：03-5961-5207 MAIL：press@festival-tokyo.jp
〒171-0031 東京都豊島区目白5-24-12 4階
ウェブサイト www.festival-tokyo.jp